

## 東三河スタートアップ推進協議会 設立趣意書

東三河地域は、全国でもトップクラスの生産量を誇る農業や、自動車関連を始めオンリーワン技術のモノづくりも盛んな工業、三河港や交通の要衝という有利な立地条件を生かした商業とバランスの取れた産業構造を有しております。

しかし、AI、IoT等デジタル技術の加速度的な進展により、本地域の産業構造も大きく変革することが想定されます。

こうした状況下において、本地域の強みを生かしつつ新しい事業領域への進出・転換や事業革新、地域課題の解決に資する新事業等の創出など、イノベーションの創出に向けた地域企業の活動が不可欠であり、それを支援する新たな仕組みづくりが求められています。

愛知県では、2018年に、スタートアップを起爆剤として、絶え間ないイノベーションを創出させる土壌形成を、新たな産業振興施策として打ち上げ、スタートアップの中核的な支援拠点である「STATION Ai」の整備を進めるとともに、スタートアップなどが生み出されていくスタートアップ・エコシステムの形成を進めています。

この愛知県の施策を、本地域の産業や経済活力の維持・発展に生かしていくため、本地域におけるスタートアップ・エコシステム形成の機運醸成と新事業の創出・育成に向けた地域支援拠点の在り方等について、地元の経済団体や支援機関、大学、行政等の参加を得て、2020年5月に設立した「東三河スタートアップ・サテライト支援拠点検討プロジェクトチーム」や、その後の2021年5月に設立した「東三河スタートアップ推進体制準備協議会」において協議を進めてまいりました。

1年半に及ぶ検討を経て、本地域のスタートアップ支援機関の連携によるシナジー創出を核に、地元の産業界、大学、行政のリソースをスタートアップの支援等につなげていく体制が整いましたので、このたび「東三河スタートアップ推進体制準備協議会」を解散して、ここに「東三河スタートアップ推進協議会」を設立し、東三河地域発のスタートアップの創出及び東三河地域に適したスタートアップ・エコシステムの形成を目的とした活動を展開することで、新産業の創出など東三河地域の産業経済の活性化を図ってまいります。